

[地球温暖化防止]

地球のため、社会のため、そして私たち自身のためのCO₂削減。

CO₂総量削減。それは地球温暖化防止への責任あるメッセージ。
ムラタの技術リソースが、その実現を支えます。



株式会社村田製作所
取締役上席常務執行役員
井上 純

温暖化防止特別委員会の委員長を務める。登山や釣りに楽しむアウトドア派。環境に対する意識や知識を、社内だけでなくマルチステークホルダーの間で共有したいと語る。

製造現場の意識と取り組みが、低炭素社会の基盤となります。

地球環境への貢献が、事業の持続的発展をもたらす。

ムラタが生産する電子部品は小さなものですが、そのために消費されるエネルギー量、CO₂排出量は、小さくはありません。私たちはグループ全体でCO₂削減に取り組んでいます。短期的には設備の更新などの投資も必要となりますが、長期的には生産効率の改善にもつながり、事業の持続的発展をもたらすものとして積極的に捉えることが重要と考えています。私たちの直接のお客様はセットメーカーですが、その向こうには全世界のエンドユーザーがいます。私たちの企業活動が地球的規模でユーザーに支えられていることを自覚するとき、環境保全への取り組みは、当然の義務と言えます。

設計・開発段階から製造工程にいたるまで全従業員をあげて数値目標達成を。

昨年には、従来の環境委員会とは別に温暖化防止特別委員会を設置。それぞれの事業所が独自に行っていた取り組みから、全社的・組織的な活動へとステージを上げ、設計・開発段階にまでさかのぼって工程の一つひとつを検証してきました。その結果を踏まえ、2015年度に、数量原単位で2007年度比マイナス10%とするCO₂削減目標を設定。これは、事業の成長を織り込みながら総量の削減を可能とする数値です。この目標を達成するためには、一人ひとりの現場での取り組みが何よりも大切であり、担当者の意欲と責任者のリーダーシップが大きな鍵となります。

現場の理解と共感を得て、大幅なCO₂削減を達成。

作業の快適性と安全性を守りながら、CO₂とコストを削減し、温暖化防止と事業発展を両立。



写真左より
株式会社村田製作所
野洲事業所 化学材料製造部
大村 健
株式会社村田製作所
環境部
永田 真之
株式会社村田製作所
野洲事業所 管理部
中西 和造

オールムラタをリードする野洲事業所の心意気。

メンバー一人ひとりのやる気が、プロジェクトの推進力。成果の“見える化”が現場のモチベーションアップにつながる。

野洲事業所は原材料を製造している主要事業所であり、CO₂排出量もムラタグループ内で上位に挙げられます。温暖化防止の取り組みを推進するにあたり、ムラタのものづくりの源流となる原材料工程でのCO₂削減に成功することで、グループ全体の活動に弾みがつく、このプロジェクトは、そのような強い想いからスタートしました。活動開始にあたり、事業所の製造部、環境課、そして本社環境部がチームを組んで、CO₂排出の主要因となるエネルギー使用用途を細かく検証。ポイントとして浮かび上がってきたのは、生産ラインの作業環境条件の変更でした。しかし、ものづくりの本質は「品質第一」であり、品質に直結する作業環境条件の変更は困難とされてきました。それ故に、品質を維持することはもちろん、作業の快適性を守りつつ、危険物を扱う工程でもあるため、安全面にも配慮す

るなど、慎重に施策の実施にあたりました。また、どのような理念も現場の理解と共感がなければ続きません。今回の取り組みでは、関係者を対象に施策発表会を行い、また、各施策実施前後の情報交換や毎月のエネルギー削減量を見える化するなど、理解を求めることに重点を置きました。地球温暖化防止への取り組みと自分たちの業務にどう関係するのか実感できないこともありますが、コストダウンにもつながることが理解されてからはプロジェクトにも一体感が生まれてきました。昨年9月から順次、対策を実施した結果、前年比でCO₂排出量1,500トン、コストにして数千万円の削減に成功。今年度はこれらの施策が1年間を通して実施されるため、さらなる削減が期待できます。この成果を、ムラタグループ全体に展開していきたいと考えています。